

哲学・倫理学

科目到達目標: 代表的な哲学・倫理学の諸問題を理解し、それらについて自分の考えを明確に表明できるようになる。

科目責任者(所属教室): 田鍋 良臣

連絡先: 学務課教務係 (me-kyoumu@ml.adm.tottori-u.ac.jp)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/4(金)	2	261	イントロダクション——哲学と倫理学	田鍋 良臣	教育センター	哲学と倫理学がどのような学問であり、それを学ぶことにどのような意義があるかわかる。	哲学・倫理学を学ぶことの意義、授業の概要・進め方・ルール、成績評価の説明
2	10/11(金)	2	261	デカルト——科学の基礎づけ	田鍋 良臣	教育センター	近代科学の哲学的な基礎概念を学ぶことで、科学と哲学の関係について理解することができる。	主観、客観、方法的懐疑、コギト・エルゴ・スム
3	10/18(金)	2	111	イギリス経験論——懐疑の徹底	田鍋 良臣	教育センター	人間の認識と経験の関係について哲学的に考察し、認識論の基本的な問題を把握する。	認識論、タブラ・ラサ、複合概念
4	10/25(金)	2	261	カント①——私は何を知らうるか(認識論)	田鍋 良臣	教育センター	カントの認識論の歴史的な意義を理解し、そこから生じた諸問題について考える。	コペルニクスの転回、現象と物自体、理論理性、アプリアリ
5	11/1(金)	2	261	カント②——私は何をなすべきか(義務論)	田鍋 良臣	教育センター	カントの道徳哲学(義務論)の概要を理解し、その問題点を批判的に検討できる。	自由、道徳法則、実践理性、目的の王国
6	11/8(金)	2	261	フョイエルバッハ、マルクス——身体への視座	田鍋 良臣	教育センター	観念論と唯物論の違いを理解するとともに、両者の問題点について批判的に考える。	人間学、身体、労働、史的唯物論
7	11/15(金)	2	261	ベンサム——幸福とは快樂だ	田鍋 良臣	教育センター	功利主義の主張を学ぶことで、道徳的な「正しさ」や「幸福」について考えられる。	功利主義、快苦、最大多数の最大幸福、動物倫理
8	11/22(金)	2	261	授業内試験①	田鍋 良臣	教育センター	授業前半で扱った諸問題を振り返り、内容の理解度を確認する。	まとめ、振り返り、論述試験
9	11/29(金)	2	261	ショーペンハウアー——苦悩からの脱却	田鍋 良臣	教育センター	ショーペンハウアーのペシミズムを手がかりに、苦悩と意志の関係について哲学的に考察する。	ペシミズム、苦悩、意志、同情(共苦)、禁欲
10	12/6(金)	2	111	ニーチェ①——神の死	田鍋 良臣	教育センター	ニーチェのニヒリズムを検討することで、「人生の目的」について建設的に考えられるようになる。	ニヒリズム、生の遠近法、神の死、ルサンチマン
11	12/13(金)	2	261	ニーチェ②——生の肯定	田鍋 良臣	教育センター	ニヒリズムの克服に関するニーチェの思想を学び、「神なき世界」における「生きる意味」について考える。	生の肯定、永遠回帰、力への意志
12	12/20(金)	2	261	フロイト——無意識の発見	田鍋 良臣	教育センター	精神分析の基本的な考え方を理解し、その問題点を批判的に考察することができる。	無意識、エロス、タナトス、エディプ・スコンプレックス
13	1/10(金)	2	261	ハイデガー——日常性と死	田鍋 良臣	教育センター	ハイデガーの現存在分析の成果を学び、自己の生き方や死について考えることができる。	現存在、実存、世人、不安、死への先駆
14	1/17(金)	2	261	西田幾多郎——日本哲学の誕生	田鍋 良臣	教育センター	西田の純粋経験論を理解し、その意義と問題点を考察することができる。	純粋経験、主客未分、日本哲学
15	1/24(金)	2	261	授業内試験②	田鍋 良臣	教育センター	授業後半で扱った諸問題を振り返り、内容の理解度を確認する。	まとめ、振り返り、論述試験

教育グランドデザインとの関連: 1, 3, 4, 7

学位授与の方針との関連: 2, 4

授業レベル: 1

評価: 平常点(40点)と授業内試験(30点×2回)で評価する。※成績評価に関する詳細は第1回(イントロダクション)で説明する。

実務経験との関連:

教科書: 教科書はなし。レジュメを配布する。

参考書: 授業内で適宜指示する。